



The Star in the West

東京西ワイズメンズクラブ会報

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA

THEY'S MEN'S CLUB OF TOKYO-NISHI(03)3202-0342

c/o TOKYO YMCA YAMATE CENTER,2-18-12 NISHIWASEDA,SHINJUKU-KU,TOKYO 169-0051,JAPAN

- 国際会長主題 「価値観、エクステンション、リーダーシップ」
- アジア会長主題 「変化をもたらそう」
- 東日本区理事主題 「未来に向けて今すぐ行動しよう」
- あずさ部部長主題 「変わるに挑戦！」
- 東京西クラブ会長主題 「楽しく、元気で、そして仲間を迎えよう！」

2022年7月号

NO 550

愛は決して滅びない、予言は廃れて、異言はやみ、知識は廃れよう。

コリントの信徒のへ手紙13章8節

歩き始めた新年度のご挨拶 会長・高嶋美知子

4回目のクラブ会長をさせていただくことになりました。

会長主題は「楽しく、元気で、そして仲間を迎えよう」といたしました。

私たちのクラブは、皆元気で楽しいメンバーです。今年度はさすがに東京西クラブと言っていただけの例会にしたいと思います。

といってもどうしてよいか、皆様のお知恵を拝借するしかないと思いました。

会員数は12人、少数精鋭でこの1年頑張りましょう。

会長主題「楽しく、元気で、そして仲間を迎えよう」に沿って、私たちが、楽しく、元気で、もちろんのこと、例会に沢山のお客様をお迎えするように努めましょう。大勢の人が集まれば活気づくと思います。他クラブ訪問も大いにいたしましょう。

例会は、毎月第3木曜日夜、事

務会は毎月第4木曜日夜に行ないます。8月は納涼例会、12月はクリスマス例会とします。3月は東京世田谷クラブとの合同例会とし、今年担当します。

WHOウォーキングは、毎月第4土曜日に開催し、7月、8月は休みます。

東京YMCAホテル専門学校の学生支援の奨学金は継続します。“ホテ校ファンド”を促進し、贈呈式を6月に行います。

IBC台北セントラルクラブにクリスマスカードを送る。来年2月4日・5日神戸に開催予定の東西日本区交流会に参加し、ペンタゴンDBC交流しましょう。

例年と変わらないプログラムですが、もう一度、一つ一つを見直し、魅力を再発見して磨き上げてみましょう。その変化に、新しい協力者に加わって頂くことを図りたいと思います。

こどもたちは夏休み WHOウォークも夏休み



川の飛橋付近で魚採りする親子ら

こどもたちは夏休み、海や山に歓声が聞えます。WHOウォーキングも、7月、8月を夏休みとして、野川シリーズは3回で中断し、9月から再開です。

三鷹の大沢の里を発し、調布の深大寺など、調布の”農“の面影を求めつつ、暑さ次第ですが、狛江まで足を伸ばします。10月は、都内で高級住宅地とされる成城の町を歩きます。ここは、仙川に沿う崖線も加わり湧き水の多い地です。

クラブ役員

- 会長 高嶋美知子
- 副会長 吉田 明弘
- 書記 本川 悦子
- 会計 篠原 文恵
- 担当主事 横山 弥利

6月の記録		ニコニコ	円
在籍者数 12人 (内功労会員) 1人	メネット 1人	クラブファンド	円
出席者数 10人	コメント 1人	ファンド残高	113,468円
メーカーキャップ 1人	ビジター 1人	ホテ校ファンド	円
出席率 100%	ゲスト 1人	ホテ校残高	円
内Zoom参加 0人	出席者合計 13人	WHO参加者	42人

7月例会のご案内

強調テーマ：キックオフ

新体制で2022～2023年度の歩みがスタートしますね。皆さんで楽しく進めたらと思います。

今月は、コロナ感染の広がりを受けて、卓話のない例会となります。中身としては、2021～2022年度会計報告の承認、2022～2023年度予算案の承認、これに伴う問題点の協議を行います。

「ふりかえり」として悪かったこと、良かったことが話し合えればと思います。

日時：7月21日(木) 18:45～21:00

会場：ウエルファーム杉並 03-5335-7318

担当：A班(大野、村野、篠原)

HAPPY BIRTHDAY

16日 河原崎和美 30日 山田 紀子

司会 篠原文恵

高嶋美知子会長

一同

村野 絢子

会長

開会点鐘

ワイズソング

聖句朗読・祈禱

ゲストとビジター紹介

2021～2022年度会計の承認

2022～2023年度予算承認

食事

ハッピー・バースデー

諸報告

ニコニコ

閉会点鐘

一同

会長

—6月事務会報告—

日時：6月16日(木)

17:00～18:45

会場：山手センター 3階

出席者：大野、河原崎、篠原、高嶋、鳥越、本川、吉田
＜報告事項＞

- ①会計報告は会計が欠席のため7月に報告する。
- ②6月例会にベトナムからの留学生グエン・クアン・タイさんが出席して奨学金を授与した。タイからの留学生スンドラ・イカンノウ・ウイさんは体調不良のため欠席をしたことが報告された。

＜協議事項：例会関係＞

- ①7月例会の卓話は東京八王子クラブの花輪宗命会長メネット、花輪豊子さん
- ②7月事務会会場は、山手センターホテル専門学校。
- ③8月納涼例会
担当B班(吉田、石井、鳥越)
- ④9月例会
担当C班(神谷、河原崎、本川、横山)

＜協議事項：例会以外＞

評議会全般についての協議をした。(書記・本川悦子)

残念だったチェロ演奏

7月16日(土)にあずさ部の2022～2023年度の第1回評議会が、YMCA山手センターホテル学校の201の教室で行われました。東京西クラブが第1回評議会の担当クラブです。

1部、2部の評議会に続いて3部の懇親会で杉並に関わることができないかと考えました。

ウクライナから避難しているチェリストが杉並に在住されているという情報がありました。

東京西クラブは杉並で活動していることもあり、何とか懇親会で演奏をお願いできないかと思いました。まず杉並区役所文化交流課に会の趣旨を話して(ワイズムの紹介カードが役にたちました)チェリストの支援者を紹介してくださいとお願いしました。

文化交流課は忙しかったようで、お願いしてから1か月くらいたって、「2、3日前に杉並区文化交流課から紹介されました」と音楽事務所から電話がありました。

事務所からもチェリストの方には依頼が多いので調整をするので少し待ってくださいと言われ、なかなか交渉には至りませんで

した。1週間くらいたってから、今度は当方と直接交渉をするようにと電話でいわれました。

それから2、3日経った夜、支援者？ 通訳？ の外国人から、「今、傍にチェリストがいますが」と電話をいただきましたが、その時は評議会が迫っていたので、チェロの演奏は見送ろうとクラブ内で決定していました。事情を話して残念ですがお断りしました。

全く経験がない交渉事をする難しさが良くわかりました。チェロの演奏が見送りになったことは残念ですが、杉並で活動している東京西クラブとして、これからご縁があれば出来る支援はしたいと思います。(本川悦子)

会計からのお願い

半期分の会費を例会に持参か、振込でお願い致します。

振込先

みずほ銀行方南町支店

普通口座 8027928

東京西ワイズメンズクラブ



ホテ校留学生支援と総会 － 6 月例会報告－

6 月例会は定例日の 6 月 16 日（木）18：45 から東京 YMCA 山手センター3F で行われました。主な行事は恒例の東京 YMCA 国際ホテル専門学校留学生への奨学金贈呈と今年度を締めくくるクラブ総会。

対象となる今年の留学生はお二人。グエン・クアン・タイさん（ベトナム出身）とスンダラ・ウイカンノウイさん（ラオス出身）。しかし残念ながらスンダラさんは体調を損ねて欠席。贈呈式は滞りなく進められました。

贈呈式に先立って、小畑貴裕同校校長から 87 年の長い歴史のある同校の創立の理念・哲学、その後現在に至るまで時代の移り変わりに即する普段の努力について、幻に終わった 2020 年の東京オリンピック開催に際しての各界からの要請に対応に努力したなどのエピソードを交えて約 15 分にわたって数点の資料と共にお話しされました。

YMCA がいかに青少年の育成をはじめとする社会貢献しているかを学ぶことができ大変有益なお話でした。またこのようなお話を聞いて YMCA の会員であることに誇りを覚えました。

次に留学生を交えての楽しい会食。留学生は引き続き行われるクラブ総会への出席は辞退し退席。



写真上は新旧クラブ役員交代式。
下は鳥越会長からグエン・クアン・タイさんへの奨学金贈呈

次に大野貞次さんの司式で役員交代式。これも滞りなく無事終了しました。

続いてクラブ総会。予め配布されている資料に従って鳥越会長が議長となって行われて上程された議案は全て承認され無事終了しました（議案内容は省略）。

定例行事と続き、ハッピー・バースデーは該当者なし、横山担当主事による YMCA 報告、ワイズ報告と続き、ニコニコタイム。それなりにメンバー同士の交流がなされ、定刻にお開きとなりました。（神谷幸男）

出席者：＜メンバー＞石井、大野、神谷、河原崎、高嶋、鳥越、本川、村野、横山、吉田、＜メネット＞神谷、＜ゲスト＞グエン・クアン・タイ、＜ビジター＞小畑貴裕（東京たんぼぼ）

■ホテル学校は一学期も終盤を迎え、夏季休暇期間に希望者が参加するリゾートホテル実習の準備が進んでいます。今年は 63 人が 22 ホテルで実習を行う予定です。2 年生の就職活動は現在の内定率 76.5%。パッケージツアーによる外国人観光客の受け入れ開始など回復傾向にあること、新規ホテルの開業予定も多数あることが企業の採用意欲を高めています。

■6 月 8 日より、夏季キャンプ・スクールの参加受付を開始。6 つの宿泊キャンプはどれも人気が高く、ほとんどが即日定員一杯に。他にデイキャンプ、水泳、語学、音楽などの夏季スクールの募集も順調に進んでいます。

■東京・フロストバレーYMCA パートナーシッププログラムとして、現地の夏キャンプに 3 年ぶりに日本からリーダーを派遣。7 人のリーダーが 6 月 16 日に日本を出発し、約 2 カ月間、在米日本人の子どもたちを対象としたキャンプのカウンセラー（リーダー）をつとめます。

■6 月 17 日に定時評議員会が開催され、役員を選任が行われました。代表理事の菅谷淳氏が重任。小町正人監事に替わり、伊藤幾夫氏（元評議員）が同日をもって新監事に就任しました。

■「第 20 回世界 YMCA 大会」が 7 月 3 日～9 日にデンマーク及びオンラインで開催。世界各国から参加者が集い、世界 YMCA 同盟の行動計画「VISION 2030」策定に向けた協議や、役員・常務委員の選挙の他、交流やディスカッション等が予定されています。同日程で開催される「YMCA 世界大都市会議」と合わせて、東京 YMCA から松本数実氏が現地参加、数名のスタッフがオンラインで参加予定です。

（担当主事 横山弥利）



写真左の後方は、旧陸軍跡に残る戦闘機「飛燕」を米軍の空爆から隠す防空壕「掩体壕」。手前は飛燕の模型。写真右は「ふるさとの丘」にある全国47都道府県を代表する石の展示。

太平洋戦争の思い出 —6月WHO報告—

WHOウォーキング6月例会「野川下りシリーズ③」は、25日(土)でした。まだ6月なのに気温は34℃、快晴の真夏日との予報。中止にしてはどの電話もありました。私たちは、当日、現地受付としているので、中止の連絡は難しいのです。集合して様子を見て決めることにしました。

当日、西武多摩川線多磨駅で参加者を確認すると42人。皆さん元気いっぱいです。とりあえず、近い都立武蔵野の森公園まで歩きました。戦時中は陸軍、戦後はアメリカ軍の飛行場跡地です。公園に入るなり、予定になかった管理センターに入り、戦時中の記録展示を説明して頼みました。ここにある冷房がお目当てでした。

園内の「ふるさとの丘」には、全国47都道府県を代表する石の展示がありました。丘の上に立つと、伊豆諸島と結ぶ旅客機やヘリコプターの発着する調布飛行場と、公園の南部分の各種球技場が見渡せて、その広大さに驚きの声が上がりました。実は、戦後進駐してきた米軍の将兵・家族のための水耕野菜栽培農園、代々木ワシントンハイツが移転した“関東村”、東京外語大学、警察大学の敷地もかつての「東京調布飛行場」の跡地だそうです。

修景池に面した芝生広場には、ふだんは、子ども連れの若い家族

がテントやワンタッチテントを張って、食事や軽スポーツを楽しんでいます。この日はまったく姿がありません。公園の気温は34℃と表示されました。「お出かけはお控えください」との園内のアナウンスに「ここまで来てから言われても」の声も。

公園最後の見どころは、掩体壕(えんたいごう)。戦争末期、首都防衛のため配備された「飛燕」などの戦闘機を米軍の爆撃から隠す防空壕です。土を盛り、その上に木材や鉄骨で骨組みを作り、砂利、砂、セメントで固め、土を掘りだし、壕として、上に土を被せて、草を植えてカモフラージュしたものです。

この作業には地元中学生も大勢動員されたそうです。有蓋壕は30基造られ、現在20基残り、2基を見ることが出来ました。米軍の物量にまかせた爆撃の前に戦闘機は、帰還することのない特攻機として出撃したそうです。

参加者の中には、昭和20年の下町空襲を墨田区で体験された方もおられました。

公園を出て都立野川公園の木陰で、三々五々のお弁当。都立公園は最近、殺虫剤の散布をしないためか、1cmほどの薄緑の色のカマキリの赤ちゃんがTシャツに落ちてきました。ここでも集散には冷房の効いたサービスセンターを利用しました。

人見街道沿いにある新選組局

長・近藤勇の生家(宮川家)跡、産湯をつかった井戸、彼の父が天然理心流近藤周助のために建てた剣道道場跡、胸像、墓所と巡りました。その後、野川の相曾浦橋で、打ち止めとし、バスでJR三鷹駅に向かいました。

参加者42人。ワイズ関係参加は、吉田(東京西)、中澤正子・藤江喜美子(東京たんぼぼ)、樋口順英(東京グリーン)、関喜一郎(元石巻広域)でした。

(吉田明弘)

東日本区大会での表彰

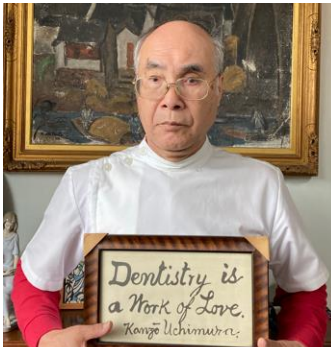
東日本区大会は6月5日Zoom方式で行われましたが、当クラブの山田利三郎さん、吉田明弘さんが会員在籍50年以上なのでゴールデンメンバー賞として表彰されました。

また、過去1年間の例会出席率は100%で同率1位、1人当たりのTOF献金額も2位入賞という嬉しい発表があり、この他にもCS、ASF、FF、BF、RBM、YESの諸献金について表彰を受けました。



☆☆☆ インタビュー ☆107☆
 正木 岳馬さんに聴く
 松本クラブ

* * *



—正木さんのお生まれは。

「1949年、長野県諏訪郡原村で生まれました。高原野菜で有名で夏は涼しいけど、冬は恐ろしく寒いところ。家族は歯科医師の父と母、3人の姉と私でした」

—幼小期は、どんな子でしたか。

「生家の池で溺れかけたとか。ポケットの飴玉とかんしゃく玉を、間違えてかんしゃく玉の方を口に入れ、爆発し血まみれになったこともありました」

—中学、高校でのクラブ活動は。

「中学は、バレーボール部、高校は、生物クラブで、諏訪湖のプランクトンの観察、静岡県戸田村ではウニの“卵割”に感動しました」

—歯科に進まれたのは。

「学園紛争の盛んな時で、授業もない状態のため原村に戻り1年の浪人生活の後、歯科大学に入学しました。良い友人に恵まれ、最高の学生生活でした」

—私は学生時代に軽井沢の星野温泉で内村鑑三の『Dentistry is God's Work』という額を見たことがありました。歯科医には手先の器用さとか、センスが必要なんでしょう。

「『Dentistry is a Work of Love』だと思います。この額は、実家にありました。現在は私が飾っています。内村鑑三は小諸市内の歯科医で歯を治療したことがあったそうです。そのとき書かれたのでしょう。県の歯科医師会が印刷して配ったのでしょうか。歯科医は手

先の器用さも必要ですが、誰にでもできる仕事です。当然練習も必要ですが」

—卒業して、すぐ開業でしたか。

「歯科大の解剖学教室に13年間在籍しました。学生の指導もありましたが、献体収集が大仕事で、県下の病院、老人施設巡りをしました。歯の根管の研究で小児歯科の学位を頂きましたし、あらゆる動物の骨格標本も作りました」

—パートナーの明子さんは高知県のご出身ですね。どこで。「彼女は、高知で薬剤師として働いていました。従妹の紹介で知り合い、1979年に結婚しました」

—松本と高知ではデートも大変だったでしょう。「ケータイもラインもない時代でした。今考えると大変だったかも。でも苦にはなりません。スピード婚で、6月に知り合い、10月に入籍しました」

—原村で開業されたのは。

「塩尻に住み、研究と診療半々の生活をしていましたが、父も高齢になるので、1991年に開業しました」

—ワイズメンズクラブへは。

「広島に住む従兄がワイズメンで、松本クラブがチャーターするのでと入会を勧められたのがきっかけです。創設に尽力されたのは、現会員の北村豊さんや故・岡本雅寛さん達でした。私は、それまでYMCAは予備校くらいしか知りませんでした。」

私の母方の叔父、伯母が牧師で、それほど抵抗はありませんでしたが、集まってもYMCAとかの話だけで面白くなく退会を考えたこともありました。でも、年配の方々の知恵と経験が素晴らしくいつも勉強になりました」

—松本にはYMCAがないのに2人のお嬢さんは積極的にワイズのプログラムに参加されていたね。

「子どもが幼いうちは、よく外国に連れ出し、外国の友達を作るとは素晴らしいと教えました。

ある程度の年齢になると、ワイズのユースコンボケーションなどは安心なので、子どもだけで行かせました。大人になって、ローマ集合、ローマ解散の旅行も可能でした。今は子どもがすっかり親を追い抜いていき、実践し、逆に教えられています」

—クラブ内では、どういう役割を担われてきましたか。「IBC、DBCをやらせていただきました。現在は、クラブの事業、留学生の論文コンテスト『アジア賞』の資金作りの文旦販売の担当でもあります」

—信州のクラブの「土佐文旦販売」には意表を突かれました。最初から成算はあったのですか。

「あると思いました。始めたのは、もう20年以上も前ですので、文旦の値段も安かったし、相当差額がありました。現在は、このところの異常気象により文旦代金の値上がり、消費税、箱代、送料などの高騰により利潤は、当初の半分ですが、多くの方に喜んでいただこうと、薄利多売としました。松本クラブだけでなく、多くのクラブに支えられています。2箱単位でもお受けいたします。どうぞよろしくお願いいたします」

—松本クラブの会員は、遠くから例会に来られるのでしょうか。「メンバー11人全員がクルマです。例会が終わるとすぐ帰宅するのでなかなか親睦が図れません。でも、IBCやDBCが来松の時はそれぞれ都合をつけ、私も松本に泊まります。夏には別荘地でも原村で東京武蔵野多摩クラブとの宿泊合同例会を続けてきました。今は、残念ながらコロナで中止しています」

—いま、ワイズに加わって良かったと思われることは。

「たくさんの方と知り合いになれたことです」

—大切にしている言葉は。

「『求めなさい。そうすれば与えられる』です」

—有難うございました。(吉田明弘)

思い出を辿って①

未来君と「ていんさぐの花」

村野絢子

2022年5月15日は沖縄が沖縄県となり、通貨もドルが円に戻った日から50周年の記念日。テレビで式典の様子が流れていた。沖縄県と政府が共同で行われた。式典の最後に女子高校生の合唱が流れた。沖縄民謡「芭蕉布」「じんじん」「ていんさぐの花」の3曲だった。どれも素晴らしかった。

その歌で思い出したのは、約20年前妙高の家族キャンプの時、小布施で17歳の成沢未来君に会ったこと。母「ももえさん」、齢の離れた双子の弟「自由くん・希望

くん」も一緒だった。

未来君は1986年先天性脊髄髄膜症と水頭症のため下肢が麻痺。生後半年で4回の手術を受け、身障認定1種2級となった。小布施の小学校に入学してから父母譲りの文学の才能に恵まれ、短歌や俳句を詠み、読書感想文は9年間連続で受賞し、長野県から表彰されたという。

その後何度も手術をして、今はスクラッチ（松葉杖）で歩く。『一等賞の旗一障害をみつめる十七歳』となって本になった。（東京YMCAの総主事だった新堀邦司さんの協力があつた）話の後、沖縄出身のももえさんが沖縄民謡「ていんさぐの花」を歌われた。心に浸みる唄であった。

その後未来君は、千葉県の子学

校に進んだと聞いていた。其の後どうしているのだろうか。本の出版社に問い合わせたが、個人情報で教えられない、と連絡が取れない。千葉の神学校を調べていくと、千葉国際基督教大学に古い名簿に在籍していたことが確認されたが、卒業生名簿にはその名がないという。どうしているのだろうか心配が募るばかりである。



上のカットはていんさぐ（ホウセンカ）の花

14年の思い出

大野貞次

14年前のある日教会で昼食を会員の皆さんと共にしていた時、牧師から幼稚園の事務と会計の仕事の依頼を受けました。

上手くできるかは不安でありましたが受けることにしました。

さて、前任者との引き継ぎも終え、始めて見ると、それは大変でしたがそれなりに仕事をこなすことができ、1年目2年目と続けているうちに余裕ができ、子ども達とも触れ合うことの喜びを覚えられました。

この14年間の間に牧師も3人変わり、また、運営システムも変わりその都度戸惑いもしましたが何とか過ごすことができたことはありがたく感謝でした。

毎年4月に新入園児（満3歳児・3歳児）を迎えるときは、ほのぼのとした光景を見ることができました。特に満3歳児は本当に小さく、初めは親から離れるのを嫌がり泣いたりしてすねていた子が、2、3か月もすると元気に走り回る姿に嬉しく頼もしい思いをする事ができました。

また、子供たちの1年間の保育スケジュールの中で子ども達の実力とすばらしさを見ることができました。

クリスマスが近くなり1か月前くらいからページェントの練習を始めるのですが、自分たちのそれぞれのセリフを完全にマスターし、クリスマスの当日に演じるのです。本当に子どもたちは、覚える速さと、優れた表現力を持っているものだと感心させられました。

そんな子ども達も3年目の年長組になると、体も大きくなり話すことも大人びて頼もしく感じていると、ある子どもが、「よっ！先輩、元気か」と声をかけられて返事に困ったことも懐かしく思い出しています。またハンドベルの演奏を各パートごとに覚え楽しくする姿を見ることができました。

そして卒園式の時には子どもたちは幼稚園で楽しく過ごしたこと、そして将来の夢を壇上に上がり堂々と語る姿は、本当に入園の時泣いていた子と、涙が出ました。弓町本郷幼稚園で過ごした14年間は多くの楽しい思い出が

できたことに感謝し、この4月末で、業務を終え卒業することが出来ました。

編集後記

6月の末ごろから続く暑さと言わく酷暑に悩まされ日々、ただただ耐える日が続く、頭の中も朦朧とし、なかなかブリテンの編集に取りかかることができず発行に遅れがでました事をお詫びいたします。

皆様はいかがお過ごしでしたか、健康を害された方はいませんか。例会には元気な笑顔で集まりたいものです。

それにしても世の中は騒々しく、いろいろな事件が起き心を痛め、怒り・悲しみ・疑問等が生まれる日々が続きます。

安部元首相の暗殺、ウクライナの戦火の終息が見えないこと、コロナウイルスの感染拡大等、悩ましき日々が続きます、そんな中、寄稿して下さった方に感謝いたします。(T.O)